

# 松戸ロータリークラブ

【2010-11年度国際ロータリーテーマ】

地域を育み、大陸をつなぐ

Building Communities,  
Bridging Continents

[第2659回例会]

会 報

No.2658

2010年12月22日発行

●四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

●THE 4-WAY TEST

Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?



地域を育み、大陸をつなぐ

本日のプログラム

2010年12月22日(水)

クリスマス例会

次回のプログラム

2010年12月29日(水)

休会 (定款第6条第1節により)

- 例会日 毎週水曜 12:30~1:30
- 例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム  
TEL: 047-364-1111
- 事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F  
TEL: 047-366-2266  
FAX: 047-361-2255  
U R L : matsudo-rc.com  
E-mail : info@matsudo-rc.com

- 会 長 伊原 清良
- 会長エクト 常盤 映彦
- 副 会 長 加藤 栄
- 幹 事 松田 茂一
- 会 計 加瀬 仁
- 会報委員 松本 幸夫 申 澈権 太田原慎一
- 山田 達郎 澤田 正宏 玉肥伸一郎
- 加瀬 仁 車田 善教 浅井 利明
- 三国 大吾

# 「松戸ロータリークラブ」 に入会して

飛田 勤 会員



「皆さん、こんにちは」JR松戸駅長の飛田です。7月に伝統ある「松戸ロータリークラブ」へ入会させて頂き早や4ヶ月が過ぎました。

この間、入会時に説明頂いた内容や例会の中で機会あるごとに指導頂いた「ロータリー

ーを知る方法は、まずロータリーになれること。そのためには、例会に出席することである」と言う基本的な事柄のみの実践で手一杯な自分ですが、更に自分なりにステップアップし、ロータリークラブの綱領にある「奉仕」の精神を念頭に、日頃の仕事の中でも指導、実践していければと思っております。今後とものご指導をお願いして、本日の私の卓話に入らして頂きます。

当社は、昭和62年4月に日本国有鉄道（国鉄）が民営分割化され発足致しました。会社発足後、早や23年余りが経ちました。これまでの間、お客さまのご理解を頂きながら、安全・安定輸送を基軸として輸送力のアップ、新型車両の導入、ご利用しやすい明るい・綺麗な駅創り等に取り組んできているところであります。

弊社の社長が4年前となります就任以来、私も社員、グループ会社幹部へ言い続けている中の一つに、「お客様に『当社グループを含め、JR東日本なら安心だね！』と言って頂けることを目指す！」と言うものがあります。

この点については、まだまだ現状の課題も多いのですが、「安全・安定輸送が確保されている。」と言うのは目指すべき当たり前のレベルであり、更にその上にある“安心”を社員一丸となって目指しているところであります。

本日は話をさせて頂く内容も、鉄道マンとしての自分自身の振り返りと、私自身のこれまでの経験を踏まえた「日頃ご利用頂いている鉄道の安全に関する取り組み」を紹介させて頂きたいと思っております。

先ず、始めに私の自己紹介をさせて頂きますと、松戸RCが創立した年と同じ昭和31年に、関西の京都府京都市で生まれ、昭和51年に日本国有鉄道に就職するまでは京都から出たことがありません

でした。

当時の国鉄に就職後、最初に勤務したのは、神奈川県川崎市に在る「川崎保線区」と言う職場でした。

ここで、当社の鉄道事業部門の組織の概要を簡単にご紹介したいと思います。

皆さまが日頃ご利用頂く際に、目にされるのは駅社員、電車の運転士、車掌くらいだと思うのですが、電車のメンテナンスを行う車両検修部門、電車を動かす為の電気を送る設備や信号機などの運転保安設備のメンテナンスを行う電気部門及び、2本のレールが続く線路設備や橋梁・トンネル等の構造物、駅建物や改札機器などのメンテナンスを行う施設部門等、普段お客さまが目にはされることの無い、言わば裏方の役割を務める部門に多くの社員が働いております。

私自身も、平成11年に埼玉県南部のエリアを担当する保線区長を最後に、その後は第一線の現場からは離れた勤務となりましたが、今年の6月まで入社以来、施設部門一筋で様々な仕事をしておりました。

次に、ここからは「鉄道の安全」に関する話へ移らせて頂きます。

ここで、約5年前の平成17年4月26日の新聞記事を紹介致します。

この日は乗員・乗客合わせて107名が亡くなられたJR西日本福知山線脱線事故の翌日となりますが、朝日新聞「天声人語」に掲載されておりました内容をご紹介します。

安全が第一である。

公共の交通機関にとっては、「定時」は信用の要だ。

しょっちゅう遅れていたのでは利用者から厳しく問われる。

しかし、肝心の安全の方が失速してしまったら、取り返しがつかない。

全国の交通機関は、安全がおろそかになっていないかどうか、再点検して欲しい。

どんなに遅れが大きくなろうと、永遠に着かないという悲惨さとは、比べようもない。

と言う鉄道事業者への警告でした。言うまでも無く、この様な悲惨な事故を発生させない為、鉄道の安全を守る為に、従前より様々な努力をしておりました。

ここからは、今後も安心してご利用頂く為にも、私が担当していた内容の中から安全に関する取り組みの具体的な内容を何点かご紹介したいと思います。

1. 列車の運転を支える土台である線路設備の管理  
当社の常磐線で運転されている特急列車“スーパーひたち”“フレッシュひたち”は、最大14両編成の列車が最高速度130km/hで運転されています。

この列車の走行を支えるのが「2本のレール」です。このレールについては、十分な管理に努めていますし、また、その管理についても最先端の技術を活用しています。

#### ミリメートル単位での管理

列車の安全な運行を支える2本のレールは、列車走行により「小さな歪み」が生じていきます。この「小さな歪み」については、定期的〔新幹線：1回/10日、在来線：1回/四半期〕に、総合検測車（East-i）と呼ばれる測定専門の車両によりmm単位で営業列車と同じ速度で測定・確認しています。

#### 普段の営業車両と同じ速度での測定

どんな内容を測っているか、その測定項目の例を示しますと、「軌間（左右レールの離れの誤差）」、「高低（レールの長手方向の凹凸）」、「通り（レールの側面方向の凹凸）」などを、mm単位で、100km/hを超える速度、例えば120km/hなら秒速33mとなりますが、その速さで測定・確認しています。

また、4日に青森まで新幹線で結ばれましたが、その新幹線では測定速度が275km/hと言った高速での測定・確認を行っています。

### 1 - 2 . レールの管理

また、レールは電車が走り続けることで金属疲労などにより傷が発生します。この傷が急に進んだり、小さな傷が放置されているとレールが折損し、電車が運転出来ないとといった状態も発生してしまいます。

私たちは、外観で発見することが難しいレール内部の傷を超音波を利用した非破壊検査をレール探傷車と言う検測車両により検査しています。この測定方法も、流石に営業車と同じ速度と言う様にはいきませんが、30～40km/hの速度で走行しながらレール内部の傷の早期発見に努めています。この結果、昨年度にレールの損傷が原因での30分以上列車を止めなければならなかったと言った事象は「ゼロ」件でした。

## 2 . 災害に備えて

鉄道の運行の安全を守る上で怖いものとしては、地震・大雨・強風等による自然災害があります。

この地震・大雨・強風等の発生時において、列車の安全運行を確保し、自然外力による災害

を未然に防ぐ為、線路沿線に地震計、雨量計、風速計を設置しています。

因みに、この付近の雨量計の設置状況をご紹介しますと田端、上野、松戸、馬橋、北小金、我孫子、取手、新小岩、市川、市川大野となっています。

近年における雨の怖さとしては、ゲリラ豪雨の頻発が挙げられます。

ここに国土交通省で纏められた「1時間降水量50mm以上の年間発生回数」がありますが、それによると年間あたりの発生回数の比較として、

1976〔昭和51年〕～ の10年間

平均162回

1998〔平成10年〕～2007年〔平成19年〕の10年間

平均238回

となり、温暖化による集中豪雨等の異常気象は増加しており、このゲリラ豪雨についても、どの地域（エリア）で発生しているかを的確に把握することが大事となります。

先に挙げた設置した観測データの活用としては、雨量などが『ある一定の数値』を超えた場合に、その対象となる線区において、「警戒」「速度規制（運転する速度を所定より落として運転する。）」、「運転中止（列車の運転を見合わせる。）」と言った取り扱いを行っています。

また、その取り扱いも各箇所気象観測装置をオンラインで結んだ防災情報システムにより、田端にある総合指令室で広い範囲で、リアルタイムな統制指示により、安全な列車運行が図られています。

## 3 . 地震に備えて

自然災害の中で一番怖いものが地震であります。と言いますのも「大雨」「強風」等は予報により予め対応策等も検討できますが、地震については未だ十分な予報・予知と言った部分が確立されていないと言えます。

その地震に備えての取り組みとしては、平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災では、鉄道の施設、特に高架橋、橋梁等のコンクリート構造物が大きな被害を受けました。

幸いにも、発生時刻が早朝午前5時46分であり、電車の運行本数も未だ少なく、新幹線も初電が運転される前であった為、設備的には非常に大きな被害を受けた割には、鉄道利用者に関する人的被害は大きくありませんでした。

しかし、山陽新幹線の高架橋の橋脚が大きく壊れたことから、当社でも東北新幹線、上越新幹線の橋脚の安全基準を見なおし、特に地盤の弱い箇所の耐震補強工事に着手しました。この

阪神淡路大震災後に、優先順位を設け、愚直に工事を進めていたことで、平成16年10月23日17時56分に発生した新潟県中越地震では、新幹線の営業運転中の初めての脱線事故が発生したものの、お客さまが怪我されることもないと言った状況に留めることが出来ました。

地震の規模としては、M6.8、震度7、震源の深さ13kmと言う直下型の大地震であり、脱線した新幹線「とき325号」の運転状況としても長岡駅停車の為に少し減速を始めた頃とは言え、時速200km/hを越える速度で運転されていました。

もし愚直に安全基準を見直さずに、補強工事をしていなかったら、山陽新幹線の高架橋の様に大きく崩れていたら、少し減速を始めたといっても大惨事になり、多くの犠牲者が出ていたかもしれません。

因みに、昨年3月末までに社内で補強工事を行った具体的な施工数量としては、約31,000本の橋脚の補強工事を完了しています。

ここまで、入社以来の施設部門で経験した内容から鉄道の安全に関するお話し、それも設備管理上のハード面の取り組みについて、三点ほど紹介させて頂きました。

そんな私が、この6月からは駅を預かる立場となりました。

去る11月下旬(24日)に開催された職業奉仕研究会の中で、職業を通じた奉仕の理念と言うこと

について勉強させて頂きました。

その際に、やはり私の頭の中に浮かんだことは、やはり御利用頂くお客さまの安全、安定した輸送を確保することにより、お客さまの信頼を得ていくことが大事である。その為に何をすべきかを考え、実行していく事だと言う想いでした。

これまでの鉄道の設備管理を担当していたときは、守っていくべき安全の内容も当然変わりました。ハード面よりソフト面で留意すべき事項が増え、如何にして部下社員を通じて、お客さまの安全、安定輸送を守っていくかと言うことに継続して取り組んでいかなければなりません。

私どもは「陸上を高速で移動する手段」を提供させて頂き、お客さまは「自分ではできないことを実現してくれる」から、運賃・料金を支払ってくださるのです。

それが、「安全面で不安に思う」とか「しょっちゅう遅れる」と言ったことでは、他の手段を選択されてしまいます。

だからこそ、私たちは「安全・安定輸送の確保」の先にある“安心”を追い求めていかなければなりません。

まだ、駅現場を預かる立場としての経験は浅い私ですが、これまでの経験を活かし、これまで以上に安全の為に「愚直な努力」を続けて参ります。

また、奉仕の理想を忘れず社員への指導等に努めるとともに、当社におけるサービスの向上にも邁進していきます。ご清聴ありがとうございました。

第2658回例会

## 例 会 報 告

2010年12月15日

### 会 長 換 擧



伊原清良 会長

松戸東ロータリークラブの渡辺剛様、同じく松戸東ロータリークラブの力丸譲司様ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくりとお過ごし下さい。渡辺剛様は3回連続でメーキャップされましたので松戸ロータリークラブの準会員として、めでたく資格要件を満たされました。

館山ロータリークラブの島 和弘パストガバナーが亡くなりました。島 和弘様は土屋亮平パストガバナーの次にガバナーを勤められました。クラブから香典と弔電を送りました。ご冥福をお祈

りいたします。

杉浦会頭就任を祝う会では当クラブの若手会員が裏方をお勤めになりました。ご苦労さまでした。

昨日、ゴルフ会の十日会が第100回の記念大会となり、飛ばし屋の松田幹事が39でラウンド、見事優勝しました。コースマネジメントも出来ることを証明しました。十日会の会長も2代杉浦裕会長から中山政明会長にバトンリレーされました。ちなみに初代会長は本橋さんでした。

三国会員の卓話よりテーブルに電通の伝説的な経営者とされる4代目社長の吉田秀雄さんの「鬼十則」を置いておきました。当社雪和食品では男子トイレの目の前に掲示してあります。

本日の卓話は飛田 勤会員で「ロータリーに入会して」です。職業分類は鉄道輸送であります。

小学校の同級生に父親が電車の運転手をしている奴がいました。うらやましくて、皆で機関車の

話などいつも興奮しながら話を聞いていました。私の父は切符を買う時、秋葉原を「あきはっばら大人一枚、子供二枚。」と言っていました。改札口では駅員がカチカチと厚い切符を刻む音がして、周りは雪が降ったようになっていました。あの風景はもう見られないのでしょうか。私の息子は御徒町で降りたがりました。「お菓子町」でした。男の子は乗っているだけで楽しそうで、二人の娘は「まだ着かないの。」でした。

本日は第5代国鉄総裁に就任した、石田禮助の話させて頂きます。明治19年生まれで三井物産代表取締役社長をしていました。城山三郎の小説「粗にして野だが卑ではない」石田は大物財界人として悠々自適の境涯からあえて労働争議の激しい国鉄総裁のポストに就く。

昭和38年当時、職員46万人を率いる国鉄総裁の職をいきなり財界人が引き受けるとするのは異例中の異例だったに違いない。総裁に就任した後、国会での初登院で言った言葉である。

政治家たちは当初この老人に対して、年寄りの冷や水だとか、名誉欲だとか、銭金勘定しかできないだとか、与野党から怒号渦巻く中で、背をまっすぐ伸ばし、代議士たちを見下すようにして、「自分は生来、粗にして野である。だが卑ではないつもりである。丁寧な言葉を使おうと思っても、生まれつきで出来ない。無理に使うと、マンキー(山猿)が袷を着たような、おかしいことになる。無礼なことがあれば、よろしく、お許し願いたい。」又その際には「国鉄が今日の様な状態になったのは、諸君(国会議員)たちにも責任がある。」と痛烈かつ率直に言い切った時には、国会はシーンと静寂につつまれたという。

自分の生き方に自信があるからだろう。なんの私心もなく、正義を貫く強靱な精神が見える。自分の信念に従って、生き様を曲げない硬骨漢。怖い者知らずの明治男。今の日本にこれだけの気概を持った人が、政官財の中にどれだけいることか。高齢による危険はないのかと訊ねる記者たちに向かっていったセリフが、「体に自信はある。気持ちはヤング・ソルジャーだ。」ソルジャーには、自分が犠牲になり耐えぬいていく若き兵。義を重んじ、公益に殉ずる覚悟を感じる。外部から来て、全く報酬を受け取る気はなかった石田禮助の生涯に触れ、あらためて仕事とは何か、と考えさせられた。国鉄総裁在任中に勲一等にという話が持ち出されていた。副総裁たちが、やきもきして、「社会主義でもあるまいし、是非に。」と、薦めたのだが、石田は吐きすてるように、「おれはマンキーだよ。マンキーが勲章下げた姿見られるか。見られやせんよ君。」おれは山猿。山猿が勲章つ

けられるか。

最後まで、その意志を貫くのは、回りに対する影響が強いだけに余程の覚悟が無いと難しいはずである。それだけでも尊敬に値する人である。他には、国会答弁での「人命を預かる鉄道員と、たばこ巻きの専売が同じ給料なのはおかしい。」など、物議を醸した発言をめぐるエピソードには事欠かない。

就任早々の同年、横須賀線鶴見事故(死者161人)が起こる。その後の「安全」への取組みに対しても心を打つ。「風の向きによって、ときに夜汽車の響きが寝室にまで届くことがある。深夜である。万物が平穏なひと時をひたすら貪っている時刻に、なお起きていて職務に励む人のあることを思うと、厳粛な気持ちにならざるを得ない。「神よ、願わくは安全を守りたまえ」と祈る気持ちになる。」

**追伸** 保線区のお話を聞かせて頂き、我孫子自動車教習所が所有していた沼と接しているJR成田線の土手改修工事で、我孫子市役所も民間だけでは進行しなかったゲリラ豪雨問題なども、JRとのジョイントしたことでクリアされ、無事に大型二輪のコースが竣工しました。又、ロータリー青少年交換学生の聖徳高等学校の阿部桃子さんが希望していた早稲田大学に合格しました。

## 幹事報告

### 松田茂一 幹事



1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内  
来週12月22日(水)の例会はクリスマス例会となる為PM6:30からとなります。

2. 外部からの会議・連絡事項等の案内  
特にございません。
3. 他クラブ会報・その他  
会報が柏RCより届いています。
4. 例会変更の連絡  
特にございません。
5. その他報告  
特にございません。

## 例 会 報 告

### [出席報告]

会員53名	義務会員44名	免除会員 9名
出席43名	義務会員36名	免除会員 7名
仮欠10名	義務会員 8名	免除会員 2名

### [欠席者]

田中 忠行君	常盤 映彦君	島村 善行君
森田 雅久君	川並 芳純君	下田由起男君
田原 晨暁君	浅井 利明君	

### [M U]

土屋 亮平君	船橋東 R C	11月25日
三国 大吾君	松戸東 R C	12月10日

本日出席率 84.31%

### [お客様]

渡辺 剛様	松戸東 R C
力丸 讓司様	松戸東 R C

## ニコニコBOX

小泉勝司君 / 12月12日の「杉浦会員会頭就任祝いの集い」に会員の皆様には多数の出席を戴り、大変感謝しております。発起人の一人として心より有難うございました。

杉浦 裕君 / 先日、日曜日の祝賀会には大勢の会員の方に出席をいただき、ありがとう御座居ました。心を新たにガンバります。

松田茂一君 / 昨日、十日会100回記念大会で優勝させていただきました。100回記念大会と云う荣誉ある時に優勝できたのも一緒に廻った、申さん、太田原さん、大川さんありがとうございました。

織田信幸君 / 所用にて早退させていただきます。

橋口和幸君 / 昨日は、十日会の百回記念大会に参加させて頂き順位は12位でありましたが、ラッキーにも、会長賞(液晶テレビ)を頂く事ができました。本当にありがとうございました。

ニコニコBOX	当日 ¥ 36,000	累計 ¥ 595,000
---------	-------------	--------------

財 団BOX	当日 ¥ 3,815	累計 ¥ 89,890
--------	------------	-------------

文責 / 三国

# 松戸ロータリークラブ 十日会 第100回記念コンペ 開催



集合記念写真

平成22年12月14日(火)  
十日会100回記念コンペを盛大に開催しました。

優勝 松田 茂一 会員  
準優勝 山田 達郎 会員  
第3位 土肥伸一郎 会員



会長挨拶、パーティー風景



優勝者 松田会員、十日会会長 杉浦会員